

## 公営企業会計システム構築業務評価基準

本局において審査を行う際の項目例を以下に示す。原則として、提案項目の順に説明を行うこと。

評価項目	評価の着目点
<b>(1)実施方針</b>	
① 実施方針	本業務の目的を達成できる手法や考え方、取り組み、運用に対する方針、想定される課題・リスクに対する考え方等について提示されているか。
<b>(2)実績</b>	
① 実績	参加者の実績・経歴として、安全・安定性を推察できるか。また協力連携事業者がいる場合、実績・経歴として、安全・安定性を推察できるか。
②	提案パッケージの導入実績は本局の規模に適しているか。
<b>(3)業務実施体制</b>	
① 実施体制	本業務に関わるシステム導入体制(体制図)、システム稼働直後の支援体制、システム保守管理体制、年度更新作業が想定される場合の支援体制等、プロジェクト管理体制が明確になり、また、要員の資格取得状況(プロジェクトマネージャー、ITストラテジスト等)など信頼できる体制となっているか。
②	協力連携事業者がいる場合、システムの導入体制、事業者の役割分担、要員、資格等が明確になっているか。
<b>(4)スケジュール管理</b>	
① スケジュール	打ち合わせ、構築、仮稼働、研修、本稼働までのスケジュールが、本市が提示する本稼働日やシステム移行期間を満たしているか。
<b>(5)運用サポート</b>	
① マニュアル	システム管理者だけでなく、一般職員用の利用マニュアルが用意されているか。
② 安定運用	本業務開始から安定運用するまでの間におけるサポート内容は十分か。
<b>(6)運用保守業務</b>	
① システム保守	運用保守する範囲及び内容はシステムの安定稼働において適切か。
②	業務に問題や障害が発生した場合の保守・着手の内容は迅速かつ適切な対応が検討されているか。
③ 動作環境	最新クライアントOSの導入や最新ブラウザ(IE等)への更新に対応しているか。
④	システムで使用しているソフトウェア等のバージョンアップにおけるサポート内容は十分か。
⑤ 法制度改正	法制改正等の費用・運用におけるサポート内容は十分か。
<b>(7)追加提案</b>	
① 追加提案	各提案上限額の範囲内で、本局に有効な提案事項等がある場合、具体的に記述されているか。

評価項目		評価の着目点
<b>(8)プレゼンテーション</b>		
①	業務趣旨の理解	提案するシステムに精通し、本業務を十分に理解しているか。
②		本システムの構築を実現するに当たっての留意点や重点個所が明確であり、本局に有益である。
③	システム内容	書類審査で確認した企画提案書の内容と整合性は取れているか。
④	管理方法	プロジェクト管理の考え方や仕様確定手法・業務分析手法が現実的であり、かつ、本局に適した手法である。
⑤	理解・回答力	要点がまとめられ、説明がわかりやすかったか。
⑥		委員からの質問の意図、目的を理解し、的確かつ信頼できる内容で、評価できる回答がなされたか。
⑦	取組意欲	業務効率化、業務改善や利用者負担の軽減につながる具体的な提案があるか。また、実現性と有効性があるか。
⑧		業務実施への積極的な意欲がみられ、柔軟性に富んだ誠実な遂行が期待できるか。
⑨	提案の実現性	提案内容は本業務の目的を達成することができる実現性が高いものとなっているか。
⑩		業務責任者等が本業務に必要な経験を十分に持ち、また経験を生かした業務の遂行が期待できるか。
<b>(9)デモンストレーション</b>		
①	ログイン	ログイン方法はセキュリティが考慮され、適切か。
②	インターフェース	作業フローがわかりやすく、初めて使う担当職員でも容易かつ直感的に使いやすいように配慮された設計であるか
③	必須項目	入力必須項目が色付けされる等、入力サポートにおいて、魅力的か。
④	複数会計	別会計への切り替えができ、使用会計の識別が容易であるか。
⑤	画面展開	同時に複数画面が展開できる機能を有しているか。
⑥	エラーチェック	入力時のエラーチェックが自動で行うことができるか。
⑦	ヘルプ機能	各業務メニューにおけるヘルプ機能は、わかりやすく魅力的か。
⑧	検索機能	債権者・伝票での検索、検索条件の指定等必要な検索機能を満たしているか。
⑨	執行伺	予算残額等の予算情報を画面で確認できるか。
⑩	支出負担行為	入力済みの執行伺の内容が反映されているか。また、更正可能箇所が適切か。
⑪	支出命令	入力済みの支出負担行為の内容が反映されているか。また、更正可能箇所が適切か。
⑫	決裁機能	各伝票入力後における、決裁機能を有しているか。
⑬	便利機能	特にアピールする機能や便利機能等は魅力的か。